

聖霊降臨節第17週 主日礼拝

2015年9月13日

第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏		奏楽者
招きのみことば	『ヨハネの手紙 第一』 4章7-11節	司会者
※開会の賛美	新聖歌4「小羊をば」	— 同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	— 同
代表祈祷		司会者
感謝の賛美	新聖歌230「十字架のもとぞ」	— 同
聖書朗読	『ルカの福音書』6章27-38節(新約120頁)	司会者
聖書黙想		— 同
説教	「赦されているからこそ赦せる」	近 伸之牧師
黙想		— 同
※応答の賛美	新聖歌202「一度死にしわれをも」	— 同
感謝の献金	(新聖歌55)	— 同
感謝祈祷		横堀 正美兄
諸案内	(来信および集会案内)	司会者
諸報告	(来会者紹介および報告)	近 伸之牧師
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	— 同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	— 同
※祝福の祈り		近 伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)	

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

司会：片山 健司兄 奏楽：近 ゆかり姉 C S 担当：佐藤 繁実兄
 集会：笹川 清子姉 横山 洋平兄
 映像・録音：片山 勝三兄 説教の録画：山崎 敬典兄 掃除：片山 敬子姉

説教メモ

- ここに書かれてあるのは、人間の力では決してできない、救われた者にだけ与えられるもの。しかし決して「命令」ではない。私たちが「神の子ども」(35)とされたのは、命令を守ったからではなく、イエスの十字架を信じたがゆえ。主はすべてにおいて、私たちの身代わりとなられた。敵を愛すること、敵を赦すこと、敵のために祈ることのできない私たちの代わりに、主がそれをなされた。主によって赦されていることを思い起こすとき、私たちはすでに誰かを赦している。なぜならば、主が私たちの代わりに赦してくださっているから。
- 「赦し」とは、相手が悪い、自分は正しいと「様子見」の態度を完全に放棄すること。「赦し(forgive)」には「与える(give)」が、「忘れる(forget)」には「手に入れる(get)」という言葉が含まれている。相手から受け取るのではなく、相手に与えるものが赦しである。相手のした悪を忘れるためには、すべてを溶かすイエスの愛を手に入れることである。主が用意してくださっている恵みを受け取るために、立ち上がろう。

個人、団体からの来信

(2015年9月13日)

PBAよりDVD/東京基督教大学より、領収証と献金感謝状/いなもと印刷/山形恵みキリスト教会より、領収証と週報と、開所5周年記念(7月)の写真/ライフセンターより、支援委員会9月定例会のお知らせ(9/29火 午後7時より 新潟福音教会にて)、他

先週の集会出席者数

9/6(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 3名 成人女性2
9/6(日)	第一礼拝	男2 女4 計6 ※毎月、実用書道教室を開催
	聖餐礼拝	男12 女19 計31 子5 9/7(月) 月曜家庭集会 (休会)
	※夕拝は「世界宣教の夕べ」に合流。	9/9(水) 阿賀野祈禱会 男3 女5 計8
	当教会より男4名、女5名、子1名が参加。	9/11(金) しゃべり場タビタ 男- 女3 子-
		9/11(金) 金曜祈禱会 男- 女3 計3

諸集会のご案内

9/14(月) 午前9:30	実用書道教室『ヨハネの福音書』5章1,5節より	書道の指導：藤田美保姉
9/14(月) 午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅
9/16(水) 午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂
9/18(金) 午後1:30	しゃべり場タビタ	渡辺智子姉宅
9/18(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂

9/20(日) 聖霊降臨節第18週			
第一礼拝 午前8:00	司会：近 伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金	
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 浩司兄 集会：笹川 清子姉 小山 千春姉	映像・録音：横堀 正美兄 奏楽：片山 敬子姉 横山 洋平兄 録画：山崎 敬典兄	感謝祈祷：伊東 一馬兄 掃除：片山 初子姉
	開会：7 感謝：231 応答：206 頌栄：62 派遣：54		
午後の予定	※五十嵐教会献堂40周年 カナン訪問	午後1時半より記念会 午後2時より	近牧師が出席 司会：佐藤鈴子姉
夕拝 午後7:30	司会・説教：近 伸之牧師		

報告

- 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばをかみしめて新たな一週間を歩みましょう。
- 宣教区講演会について
今週17日(木)午前10時より万代市民会館において新潟山形宣教区の講演会が行われます。当教会より子どもや求道者を含めて10名ほど参加を予定しています。講師の栗原加代美氏や各奉仕者の務めが守られ良き集会となりますように。
- 先週の来会者 9/6(日)
聖餐礼拝に出席：佐藤穂高くん、
大地一弘先生、大地結実夫人、大地琴奏さん(長岡福音キリスト教会)

ジグソーパズルをやってらっしゃる方が結構おられるようです。私ははじめ、五百くらいのピースを集めて一つの絵を完成するのをやりました。一番多かったのは、二千のピースを集めてカリフォルニアの地図を完成するというものだったんですけど、あれはなかなか大変ですね。同じような形のもので、そして色が違えばいいんですけども、同じような色のところになると難しいですね。で、夜中になってくたびれてくると、コリャちよっというくらい違うなあと思いつながら、えいと無理矢理押し込んだりする。すると別のほうがぼこっと浮いてしまう。そちらを押さえると、片方の片がまた浮いてくる。それが五百であろうが、二千であろうが、やっぱり当てはまるものは、絶対一個しかないわけです。それを無理矢理押し込むと、必ずどこかにゆがみを生ずるということですね。

アウグスティヌスという人が言いました。「人間の心の中には、神をもって以外には、決して埋まらない空洞がある。」有名なことばです。人間の心の中の、神をもって以外には決して埋まらない空洞。それを他のものでいろいろ満たそうとすると、そこに無理があるんだ、ということですね。

ソロモンという人は、その心の空洞をいろんなもので満たそうとしました。時には知恵、知識をもってですね。ただ知恵と知識だけじゃなくて、今度

は思いきりもうけてみようじゃないか、というわけで、彼は事業を拡大して、人もうらやむような多くの富を手にすることができました。でも、いや、いったいそれがなんなんだ、と彼は気がついた。そして、それを思いっきり使ってみようと、快樂の限りを尽くした。でも、快樂なんて、そんなものはなんて空しいんだろうという風に、彼は迷いました。そして、ただ遊びほうけるというだけではなくて、彼は芸術的な感覚を持っている人でしたから、音楽を楽しみ、絵画を楽しみ、そして自ら文学をものにしました。立場から言うならば、これ以上、上り詰めるところがないというくらいにまで、最高の位を手にしたものでした。

その結果、彼は、旧約聖書『伝道者の書』の最後のところで、「結局のところ…神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである」と、こう言っているんですね。神を信頼し、神を恐れて生きる。これがすべてだ。これは聞かすべき言葉ではないでしょうか。

「あなたの父と母を敬え。あなたと神、主が与えようとしておられる地で、あなたの神、主が与えよめでである。」

(『出エジプト記』20章12節)



Christian @ iPArts.net

2015年度教会目標

「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

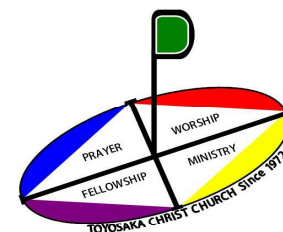
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。

☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



9/19(土)「祈り〜神様どうしてですか〜」横田早紀江さん(写真)

メッセージ: 岩井基雄

1977年11月15日、横田早紀江さんの長女・めぐみさん(当時13歳)は、学校から自宅に戻ることはありませんでした。警察も懸命な捜査をし、あらゆる手を尽くして捜索しても、何の手がかりもなく、家族は絶望の淵に立たされました。どこかで生きてると信じてはいても、つらく苦しい日々が続きます。そんな中で、早紀江さんは聖書に出会い、聖書のことばに勇気づけられてきたといいます。そして20年後、めぐみさんは北朝鮮に拉致されていたことが判明しました。今なお、解決が見出せない状況の中で、早紀江さんは何を考え、何を祈るのでしょうか。早紀江さんの体験とともにお話を伺います。